

製造現場の課題解決のためのDX推進講座

一日産自動車の事例に学ぶ“製造現場で活きるDX”イノベーション

こんな困りごと、ありませんか？

- ★ 業務のDX推進を任せたが、どう進めればいいか進め方がわからない
- ★ 他部門との連携・調整・合意形成がうまくいかず、プロジェクトが進まない
- ★ 製造現場や設備保全にフィットするDXがどのようなものかわからない

データ活用

業務効率向上

予知予防保全

設備復旧支援

品質保証

作業編成最適化

などの様々な事例を二人の経験豊富な専門講師が講義！
だから、製造現場で活きるDX事例が多面的に学べる！

講師

日産自動車株式会社
生産技術研究開発センター エキスパートリーダー
博士(工学)
守屋 岳志 氏



【経歴】

入社以来、CAE、AI、数理最適化、CAMといったデジタル技術を駆使し、クルマづくりの技術革新を一貫して推進。プレス成形シミュレーションから車両性能設計、金型製作システム開発に至るまで、幅広い専門性と成果を発揮。近年はBigdata・IoT・AIを積極的に活用し、生産技術全体の革新を牽引されている。日々、専門技術領域の強化と深化に取り組まれている。

講師

日産自動車株式会社
プラント・メンテナンスエンジニアリング部
設備信頼性技術G エキスパートリーダー
萩原 敬二 氏



【経歴】

1991年入社以来、自動車製造における生産技術、設備開発、品質管理と多岐にわたる経験を積む。特に近年は、プラントメンテナンスエンジニアリング部にて、予知予防保全の専門家として、ICTで人と設備を高度に融合させ、スマート保全の実現化で手腕を発揮し、設備の安定稼働と生産性向上に貢献。日々、専門技術領域の強化と深化に取り組まれている。

日 時：2026年 2月26日（木）10：00～17：00

会 場：公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 研修室

（東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階）

受講対象

- ・製造業の管理職の方
- ・製造業のDX推進担当者
- ・生産技術担当
- ・設備保全担当
- ・DX推進するうえで課題を抱えている方
- ・改善推進者 など

※プログラムなどの詳細は裏面をご覧ください

講座の狙い

製造業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は、生産性向上や人財育成、設備保全の高度化など、多様な課題解決の鍵となっています。しかしながら、成功例の裏には数多くの試行錯誤があり、現場定着や人財育成の壁も存在します。本セミナーでは、現場発信でDXに取り組む製造業企業の事例を共有し、成功・失敗両面から実践知を学ぶことで、参加者各社の今後のDX推進のヒントとする目的とします。実際に取り組まれたお二人から多面的に学んでいただける構成にしています。モノづくり（クルマの開発や生産設備、工場）で導入されている“IoT, AI, DX技術”を基に受講者が自社や自組織で活用できるモノづくりDX技術の導入事例を紹介します。単なる知識の詰め込みではなく、「自ら課題を見出し、デジタル技術を使って解決に導く」DX人財を育成することを狙いとし、自社や自組織に対し、DXの実践的な展開ができる一助となることを目的としています。

講座のプログラム概要（予定）

・はじめに

・日産自動車のモノづくりDXのコンセプト

・自動車の生産事業動向と生産工場が向かう先

・日産保全技術の狙いと取り巻く環境

・生産領域DXの事例紹介（自動車生産におけるDX事例）

→Nissan Intelligent Factory (NIF)についての事例

業務効率に向けたデジタル化の取組みの事例

品質保証システムの事例

データ活用事例の事例

量子コンピュータの活用の事例

・設備保全DXの事例紹介

→復旧支援の事例

予知予防保全の事例

技能育成サポートの事例

管理業務の効率化の事例

設備信頼性作り込みの事例

リモートメンテナンス・エキスパートシステム

設備診断技術・寿命予測技術の開発

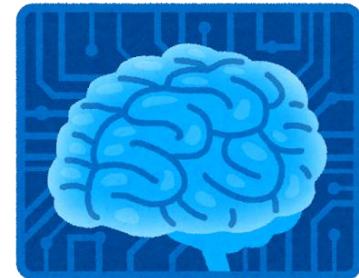
故障訓練シミュレータ・VRトレーニング

設備稼働管理・保全情報管理システム

保全のノウハウを活かし設備設計へ貢献

・デジタル活用の失敗例と気づき

・まとめ・質疑応答



受講申込み規定・ご案内

1. 参加料

(公社)日本プラントメンテナンス協会 (正会員、事業所会員) (一社)日本能率協会法人会員	44,000円/人(税込) (本体価格40,000円 消費税4,000円)
一般	66,000円/人(税込) (本体価格60,000円 消費税6,000円)

※参加料には、テキスト（資料）代が含まれております

※昼食のご提供はございません

●会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。

- ・(公社)日本プラントメンテナンス協会
<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>
- ・(一社)日本能率協会 <https://list.jma-member.com/>

2. 参加お申込み・参加料お支払い方法

●当会HPの専用申し込みフォームよりお申し込みください
URL : <https://info-jipm.jp/>

●申し込みはWEBでのみ受け付けます。
FAXでのお申し込みはできません

●ご参加にはインターネットがつながる環境が必要です

●開催2週間前に、参加派遣窓口ご担当者様あてに請求書を送付いたします。開催後、1ヶ月以内に小会指定の銀行口座にお振込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください

■個人情報に関する取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、当セミナーの運営・管理
・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より
事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がござります。

当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに
則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポ
リシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会
ホームページ(<http://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください。

お申し込みはWEBサイトから <https://info-jipm.jp/>

3. お願い・お断り

●録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

●ご参加予定の方が当日お越しになれない場合は代理の方がご参加ください。

代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規程により
キャンセル料を申し受けますので予めご了承ください

※キャンセル申し込み方法はメールのみ
(いずれも土日曜・祝祭日は、下記日数に含まれません)
開催当日および7日前の取消し：参加料全額

4. お申し込み・講座内容のお問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
普及推進部

東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階
電話番号：03-6865-6081

(音声ガイダンス後に「3」を押してください)
E-Mail : FUKYU@jipm.or.jp

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、受講環境、輸送機関のサービスの停止、官公庁の指示などの当会が管理できない事由により研修内容の一部変更及び中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます。

そのほかのセミナーは
こちらのQRからアクセス



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance